

脳神経外科に通院中の患者さまへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、これまでの治療のカルテ情報から得られた研究データをまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】平成 27 年 1 月 1 日から平成 29 年 12 月 31 日までの期間に、当院で脳血管撮影または脳血管内治療を受けた患者さん

【研究課題名】日本国内の脳血管内治療に関する診断参考レベル構築のための調査研究

【研究責任者】筑波大学 脳神経外科 脳卒中予防・治療学講座 教授 松丸 祐司

【研究の目的】この研究は、脳血管撮影や脳血管内治療を受ける患者さんの放射線被ばくの実態を調査することで、標準的な被ばく線量の参考値（診断参考レベル）を策定することを目指します。国内の多くの施設がこの調査を実施することで、極端に被ばくの多い施設や、逆に少なすぎる施設が識別できるようになり、患者さんの被ばく線量を最適な値に調整することができます。

【利用する診療情報】

診断名、年齢、性別、身長、検査もしくは治療の手技内容、使用した血管撮影機器の情報

【外部機関への研究データの提供】

上記のカルテ情報を、次の研究機関に提供して、共同で研究を進めます。

・ 共同研究機関及び研究責任者

筑波大学 脳神経外科 脳卒中予防・治療学講座 教授 松丸 祐司

【研究期間】当院の許可日～平成 33 年 3 月 31 日（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 脳神経外科 担当医師 橋村直樹
電話 06-6833-5012(代表) (内線 8638)